

大葛地域おこし協力隊活動レポート

22年12月20日に、比内地域大葛地区に2人の男性が地域おこし協力隊員として着任して約1年。協力隊の林隊員に、未来ヴィジョンの策定作業から始まった、これまでの主な活動と、2年目に向けての意気込みなどを取材しました。



林 孝行さん(森越)

冬道の側溝にタイヤがはまったときに助けられ、インフルエンザにかかったときは、大好物の茶わん蒸しをいただき、自宅の水道が凍ったときにも…。着任以来、私生活でも数えきれないほど、地区の皆さんに助けられた1年でした！「ありがたい」と言われるより、言う方が圧倒的に多く、本当に感謝しています！

1年目は、とにかく「実行」「行動」でしたね。今回紹介する活動も1人でできるものは何一つありませんでした。いつも誰かが助けてくれます。「思いつきを大事にして、まずは実行する！」という信念は変えずに、これからも動いていきます！

1年目の主な活動を報告します！

初花月



この奇麗なお菓子は、地区の佐藤弘子さんだけが作れる幻の干し餅！薄さと形状が特徴で、作るのが大変難しい一品です。この干し餅に「初花月」という名前を付け、青森で行われた「第4回我が家の干し餅大会」に参加し、秋田県勢初参加のなか、見事入賞を果たしました。そして昨年、地区内の森越で有志17人により「初花月の会」とい

大葛未来ヴィジョン

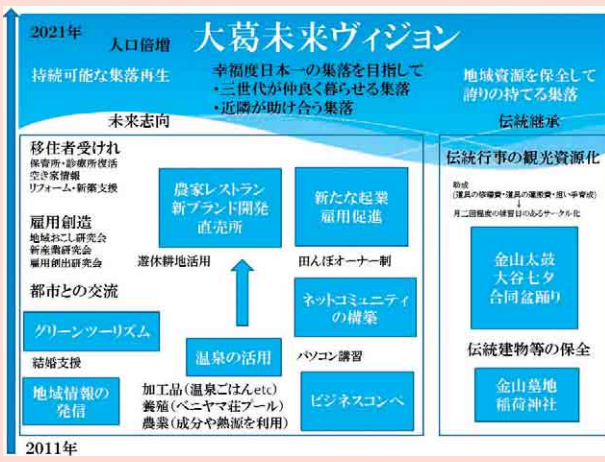
「幸福度日本一の集落を活動目標に、地区が取り組む方向性を描いたのが、大葛未来ヴィジョン」です。日本一達成のために「三世代が仲良く暮らせる集落」「近隣が助け合う集落」を目指します！

昨年冬の計画策定時の大葛地区は、238世帯685人が暮らし、55歳以上の割合が58%を占める準限界集落で、保育所、交番の閉鎖や小学校の統廃合が決定していました。

そこで、まずは未来に目を向けた「持続可能な集落再生」と、これまでのすばらしい伝統を継承する「地域資源を保全して誇りの持てる集落」を2本柱に据え、それに様々な構想を肉付けして、大葛未来ヴィジョンは完成しました。

私たち地域おこし協力隊の任期は最長3年間で、その期間でできる協力は限られています。地区の方々の話を聞き、地域行事への参加や様々な行動に出た種まき期間の1年目。地区の方々や活性化、雇用創出などの方向性を話し合い、1年目の手応

えをしつかりと育てる2年目。3年目では、創出した事業を自立できるレベルに拡充し、花を開かせ、事業を引き継いで定着できることを目指します。



地区の情報発信、都市との交流を進め、地区人口とその構成を適正な水準に戻して近隣で助け合い、公共サービスを復活させるとともに、地域の建材を用いた集落景観形成を目指しています！

大葛地域おこし
協力隊事務所
〒018-5851
比内町大葛字
大葛家後89番地1
☎57-2011